東稲ニュース

第 130 号　　早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和５年　　７月 10 日発行
発行責任者　山口　謙二
編集責任者　片平 るみ
E-mail:oyamasahiro1130@gmail.com
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局　大矢 真弘　℡042-475-8532

会の告知板

【部会予定】

８月	１日	（火）	カラオケ部会	18:30	オンチッチ
８月	６日	（日）	2023 年度第２回役員会	16:00	生涯学習センター
８月	23 日	（水）	グルメ部会 ひばりが丘「季粋」	11:45	ひばりが丘駅北口集合
９月	19 日	（火）	ウォーキング部会「向島百花園」		
９月	28 日	（木）	映画鑑賞会「ウェストサイド物語」	14:00	成美教育文化会館
10 月	15 日	（日）	秋の懇親会	14:00	成美教育文化会館
10 月	17 日	（火）	ウォーキング部会「子の権現・竹寺」		
11 月	30 日	（木）	映画鑑賞会「心の旅路」	14:00	成美教育文化会館

＜各部会定例活動一覧＞

部 会	７月				８月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性ｻｰｸﾙ	6	木	10：00	中央町地区ｾﾝﾀｰ	休　会			
書 道	9	日	13：00	八幡町地区センター	13	日	12:40	生涯学習センター
俳 句	16	日	13：00	生涯学習センター	20	日	10:00	生涯学習センター
囲 碁	30	日	13：00	成美教育文化会館	27	日	13：00	成美教育文化会館
太極拳	8	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	5	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	22	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	19	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	29	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	26	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	毎週金		10:50~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ
ソフトボール	3	月	11:00～13:00	南町運動広場		月	11:00~13:00	南町運動広場
	24	月	11:00～13:00	南町運動広場		月	11:00~13:00	南町運動広場
ボッチャ	8	土	13:00～15:00	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	5	土	13:00～15:00	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ
	31	月	11:20～13:30	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	28	月	12:50～14:50	わくわく健康体育館

※　８月のソフトボールは、気温の激しい上昇が予想されます。危険と判断した場合は、練習を中止します。

【部会予定】

９月	３日	（日）	三多摩支部大会	18:30	早稲田実業学校
９月	28 日	（木）	稲門祭実行委員会		早稲田大学
９月	30 日	（土）	秋季幹事長・事務局長会		早稲田大学
９月	30 日	（土）	秋季代議員会		早稲田大学
10 月	22 日	（日）	稲門祭		早稲田大学
11 月	５日	（日）	23 区部・三多摩支部合同会長懇話会		
11 月	18 日	（土）	東村山稲門会総会		サンパルネコンベンションホール

会の報告

◎狛江稲門会創立 25 周年記念「心のふるさと」コンサート　報告

6 月 25 日(日)、狛江稲門会創立 25 周年記念のイベントに参加してきましたので、ご報告いたします。来年 2024 年には東久留米稲門会も 30 周年の記念行事を開催する予定で、6 月にその実行委員会を立ち上げた所であり、来年の記念イベントの参考とするために、小野副会長、清水幹事、山岡幹事、梶井幹事、小山田の 5 名で参加、視察してまいりました。

小田急線狛江駅に隣接した立派な市民ホール「エコマホール」での開催で、交通の便がよく 728 席もある美しいホールで、ちょっぴり羨ましく感じました。オープニングの早稲田大学グリークラブメンバーによる元気のよい「紺碧の空」合唱に続き、創立 25 周年記念ということで、松原俊雄狛江市長、萬代晃早稲田大学校友会代表幹事の祝辞があり、上村邦雄狛江稲門会会長のご挨拶の後、いよいよコンサートがスタート。

第 1 部はグリークラブ 20 名ほどのメンバーによる男性合唱公演。大学の応援歌、アニメソングから昔からの愛唱歌など、多彩な 9 曲をいつも通り安定感のある美しいハーモニーで歌い上げ、心地よく安心して演奏を楽しむことが出来ました。

続いての第 2 部は、51 名で構成された早稲田大学交響楽団による公演で、8 曲のこれまた多彩な楽曲をを取り混ぜた内容で、老若男女、素人でも楽しめる構成。最初と最後の演目、ビバルディ四季より「春」、ベートーベン「運命」第一楽章が素晴らしいのは当然として、古関裕而の楽曲と「見上げてごらん夜の星を」「川の流れのように」の演奏は、本当に素晴らしいと私は感じました。多彩な楽器による大編成楽団の生演奏の迫力に圧倒される 45 分間でした。視察団の 5 名とも感動のあらしで、その後のフィナーレ、「早稲田の栄光」「都の西北」では涙腺が弛み、不覚にも涙が出て歌声をを詰まらせる場面もありました。

今回コンサートの司会を務めたのは三多摩支部事務局長の大橋忠弘氏。見事な司会で公演を盛り上げ、楽しませてくださいました。視察団 5 人による帰路途中の「反省会」では、来年の 30 周年記念イベントでも、このような感動を皆で共有できるものにしたいと、大橋氏に相談するのも一案では、との認識で一致しました。来年に向けてイベントの具体的内容の検討作業を始めたいと思います。今回の狛江稲門会創立 25 周年記念コンサートは、我々にとって示唆に富んだものとなりました。

小山田 朋樹 記

◎第 1 回役員会報告

2023 年度第 1 回役員会が 6 月 4 日（日）16:00～生涯学習センターにて開催された。

＜議事録概要＞

山口会長から開会の挨拶の後、安宅初代会長の偲ぶ会、稲穂会、三田会総会、30 周年記念行事関係の説明があり、以下の事項について報告や意見交換が行われた。

1　第 29 回定時総会の件

（1）反省等

飲み物が少なかったのではとの意見があり、次年度は増やすこととした。なお、会場については次年度も 1 階のギャラリーで講演会・総会・懇親会を行うこととする。

（2）次年度総会

2024 年 4 月 21 日（日）　成美教育文化会館　1 階ギャラリー

（3）次年度文化講演会

・講演内容　　市民大学講座の講師の方も引き続き候補とする。
・講演会担当　　前川初子

2　2023 年度会員の状況

（1）6 月 3 日現在の会費納入、未納者状況

・納付者：112 名　　＜予算の 140 名まで　28 名＞　＊未納会員数　26 名

（2）未納会員への督促について

・７月の東稲ﾆｭｰｽ配布時に督促状を出す。

3　本年度の行事予定、担当者等

（1）役員会

8/6（日）・10/1（日）・12/3（日）・2024 年 2/4（日）・4/7（日）

（2）秋の懇親会の日程

実施予定日：10/15（日）　成美教育会館３階　大研修室　13:00～16:30　予約済
案　内：9 月 10 日発行の東稲ニュース　　申込締切：9 月 30 日（土）
担　当：有賀千歳
招待者：２０代～４０代の校友

（3）忘年会の日程　　12/3（日）

（4）新年会の日程　　1/20（土）→1/13（土）→ 1/21（日）→　1/14（日）の順に確認

4　2023 年度会員名簿印刷等について

（1）会員氏名等の確認

（2）各部会の部会長の確認

（3）発行は 7 月 10 日

5　広報関係

（1）東稲ニュース

今回担当の片平氏より編集概要案に基づき説明の後、日程の変更や追加の内容について報告があった。

・原稿締切　6 月 25 日（日）　　・文字校正送付予定　7 月 1 日（土）
・印刷日　　7 月 7 日（金）　印刷 16:00～　　作業 17:00～　　学習室５

6　稲門祭記念品の販売状況等

・目標金額 14 万円のところ、167000 円の販売額達成（6/4 現在）
・景品の寄付・・・２万円～３万円　柳久保うどん（340 円）60 袋 程度

7　その他

（1）映画鑑賞会

①5 月 25 日（木）14 時　「ひまわり」実施報告
②9 月 28 日（木）14 時　「ウエストサイド物語」　成美教育文化会館
・受付担当者　・・・・・・　小山田、小野、河村、山口
・映画紹介等挨拶者　・・・　清水
・ハガキ、チラシ印刷等　・　大矢

＜次回以降　上映日予定、内容　検討＞
2023 年 11 月 30 日（木）・2024 年 2 月 22 日（木）・6 月 27 日（木）・9 月 26 日（木）

（2）30 周年記念事業の件

・実施日程　　後日検討
・実行委員会　　委員長　小山田、副委員長　金子、委員　梶井　＋　執行部
・事業内容等　　「担当者も会員も負担なく、楽しめる内容にする。」

8　サークル・部会関係

①女性サークル　②ゴルフ　③囲碁　④俳句　⑤書道　⑥太極拳
⑦グルメ　⑧郷土研究　⑨ウォーキング＆山歩き　⑩カラオケ
⑪スポーツ観戦　⑫諸芸術鑑賞　⑬ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ　⑭ﾏｸﾞｶｯﾌﾟの会　⑮ボッチャ
＊次回役員会　８月６日（日）16:00　生涯学習センターの予定

新役員紹介

今年度の総会において、新たな新体制がスタートしました。新任の役員２名の紹介です。

松崎勉　　ご挨拶、そして早慶戦での通過儀礼の思い出

皆さんこんにちは。この度幹事に就任させて頂きました、昭和 63 年卒の松崎勉と申します。市民歴 22 年、人生で最も長い居住歴となりました。母校及び東久留米市に少しでもお役立ちできればと願っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、我が母校に関する明るい話題といえば、何といっても 2019 年以来の声出し応援が可能になった野球の早慶戦です。3 回戦まで縺れ、結果は残念ではありましたが、ＴＶ画面越しながらも、かつて神宮球場で味わった熱気の一端に久々に触れることができ、大変嬉しく感じました。自分の在学当時は新宿歌舞伎町のコマ劇場前広場に、まだ噴水池があった時代です。早慶戦観戦後の新入生の通過儀礼により、自分から池に飛び込んだのか周囲からつき落とされたのか記憶が定かではありませんが、全身ずぶ濡れになってしまったこと、そして帰路の国電山手線内で乗客から刺すような厳しい視線を浴びたことが、昨日の出来事のように思い出されます。

春季は、所用により球場に応援に行けませんでしたが、秋季は是非とも神宮に足を運んで、声高らかに「紺碧の空」や「都の西北」を唱和したいと願っております。

青木規宜

本年度より新しく幹事になりました青木です。

私は名古屋の生まれで、小中高と名古屋市内の学校を卒業しましたが、大学は絶対名古屋から出たいという思いがあり、あちこちを受験した結果、最終的に早稲田の機械に入学することになりました。

東京での大学生活は大変楽しいものでしたが、いざ就職となると地元名古屋に戻りたくなり、名古屋にある製造業の某社に就職しました。

ひとつの会社で無事に定年まで勤めましたが、自分を取り巻く環境は激しく変化していきました。

入社してから、設計→営業→子会社指導→営業→監査→企画、と担当部署が目まぐるしく変わり、最後の企画で定年を迎えました。

また、せっかく地元名古屋に就職したのに入社２年目で東京支社へ転勤となり、結婚したことを機に東久留米に自宅を購入したところ、悲しいことに今度は名古屋本社勤務となり定年を迎えるまでの 19 年間は単身赴任となりました。

担当部署の変化や勤務地の変更は、いつも突然決定されるので、それを受け入れることに大変苦労しましたが、今となっては「会社生活もいろいろあったなあ」と感慨に耽っております。

定年を迎えようやく落ち着いて東久留米に住むことができましたので、これからは地元の活動に参加していきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

部会だより　【活動報告】

＜スポーツ観戦部会＞　　野球早慶戦観戦

5 月 28 日第 2 戦：コロナ禍で変則開催が続いていましたが、内野席チケット前売り制以外はほぼ通常に戻りましたので観戦者募集しました。スポーツ好きの会員に内野席（@2000 円)6 席を確保頂きました。東久留米から 4 名と私の学友夫妻。結果は歴史的大敗(1-15)で一同終始シュン。

東久留米組は地元へ戻り恒例の？残念会。なるべく野球に触れずにいるのも些か辛いものがありました。球場であまりの不甲斐なさに私が大声を上げていたところ、前の席の男性から「皆応援に来ているのですから、静かにして下さい」と窘められました。誠にご指摘ごもっともで、亡くなられたラグビー大好きの藍原さんは「弱い時こそ応援するのが本当のファンだ」とおっしゃっていた由。現場へ行く限りは辛く悔しくても前向きに応援するものと深く反省した次第です。

5 月 30 日第 3 戦：雨で一日順延の火曜日、性懲りもなく一人で外野席（@1000 円)観戦。平日で授業が或るせいか観客の殆どは内野応援席。前々日の大勝に意気上がる慶応側は応援席ほぼ満員、一方早大側は約１/４。試合は両校エースの投げ合いで進むも、慶応主将のソロホームランで勝負あり。外野席には私と同類のもの好きがチラホラと。この日は前回の反省を踏まえて、早大の外野選手に温かい声援を送りました。春シーズンは出だし好調でしたが、次第に尻すぼみに終わりました。秋には投手陣の奮起を期待して観戦したいと思っています。　　山口 謙二 記

＜俳句部会＞

第 273 回　　5 月 21 日(日)

兼題：夏帽子・夏木立　　他　当季雑詠二句

＜高点句＞

水辺行く母子のハミング夏帽子	杉本達夫
聖堂のステンドグラス夏燕	川島知子

＜自選一句＞

あの角でたぶん振り向く夏帽子	片平るみ
浜辺へと全力疾走夏帽子	三浦洋子
馬駆けるサイロの向こうに夏木立	比護喜一郎
里帰り母子（おやこ）揃ふて夏帽子	大久保泰司
羅(うすもの)のなお重そうに祖母の肩	横田慧子
麦藁帽往（ゆ）くわが道は凸凹と	橘優治
真夜中に命の叫び恋の猫	馬場清彦

第 274 回　6 月 20 日（火）

兼題：　夏の雲・あやめ　　他　当季雑詠二句

＜高点句＞

淡々と草引く日々の幸もあり	川島知子

＜自選一句＞

夏の雲音なく湧きぬ地平線	三浦洋子
球児らのため息吸ひて夏の雲	片平るみ
夏の雲日本列島睥睨す	比護喜一郎
花あやめ嫁入り舟を見送りぬ	三浦洋子
信州はりんごの花に埋みおり	横田慧子
梅の実のぽっと色付き落ちにけり	橘優治
ふるさとへ帰ってこいよと夏の雲	大久保泰司
筋斗雲一休みする雲の峰	馬場清彦

片平 るみ 記

＜女性サークル＞　　旧古河庭園を訪ねて

爽やかに晴れた5月11日（木）女性サークルの企画により参加者7名で旧古河庭園を訪れました。駒込駅から徒歩15分にある旧古河庭園は、大正初期に造られたもので、洋館と洋風庭園はイギリス人建築家のジョサイア・コンドルが設計し、日本庭園は京都の庭師の小川治兵衛により作庭されたものです。戦後は古河家の手を離れて国有財産となり、現在は東京都が借り受けて一般公開しています。また、2006年には国の名勝に指定されています。

今回は入園して、1時間後に集まる場所を決めて、参加者各々が自由に見学しました。今の時期は、洋風庭園に咲くバラが有名で、多くの人が訪れていました。洋風庭園には約90種180株のバラが植えられているそうで、品種ごとに名札がついていて、名前を見ながらゆっくりバラを鑑賞しました。新緑の中に咲く色とりどりのバラはとても綺麗でした。

バラを見た後は、その日は予約無しで洋館に入れるというので、見学することにしました。入館料を払い入口でスリッパに履き替えて最初に見たのがビリヤード室でした。後は書斎、応接室、食堂などを見学しましたが、ところどころにバラの装飾があり、ジョサイア・コンドルのバラへの愛着が感じられました。応接室や食堂にはテーブルとイスがセットしてあり、喫茶などで利用できるそうです。

2階の和風建築は一般見学では見られませんでしたが、ジョサイア・コンドルについての資料が展示されている部屋がありました。1877年（明治10年）24歳で日本政府により工部大学校の教官として招聘されて来日し、辰野金吾や片山東熊など多くの優秀な建築家を育て、また鹿鳴館やニコライ堂など多くの洋館を設計し、日本の近代建築の父と呼ばれているそうです。日本文化にも造詣が深く“他のイギリス人には横柄な人もいたが、コンドルにはそのようなところは全く無かった”そうです。

1時間後に参加者が集まりましたが、日本庭園の方を見学した方もいて、今回見学出来なかったところを見にまた訪れたいと思いました。その後は駅の近くの和食店で昼食をとり、話も弾み親睦を深めました。

吉川 明美 記

＜ボッチャ部会＞　　ボッチャ大会で優勝

『 第 1 回 く る め カップ ボッチャ 大 会 』に東久留米稲門会から3チームが出場し、優勝、準優勝、5位を獲得しました。

4月に発足した部活のボッチャ部の快挙です。

1位 坊ちゃんズ 東海、坂井、渡辺

2位 W H T　小野、小山田夫妻　（早稲田東久留米稲門会）

5位 H Y M　松崎夫妻、渡辺昌子　（博、洋子、昌子）　1チーム　3人編成

第1回大会の参加チームは全12チームです。国分寺市からのチームも参加。家族チーム、ママさんチーム、バーバと孫二人、爺さんチームなど、いろいろ。狙いは、優勝。予選リーグは、3チームずつ総当たり。坊ちゃんズ、WHTチームは、1位通過、HYMチームは、2位通過でした。決勝ラウンドは、1

位通過、2位通過、3位通過のそれぞれ4チームが集まってのリーグ戦です。

坊ちゃんズとWHTチームの対戦は、大熱戦を展開し、小山田パパ、小山田ママのスーパーショットの連発でWHTチームが勝利しました。１位通過の決勝ラウンドでは、3チームが２勝１敗で並びましが、大会規定で勝敗数で並んだ場合は、総得失点差で決定するとなっていたため、坊ちゃんズが優勝となりました。準優勝は、WHTチーム、HYTチームは、予選２位通過チームのリーグ最上位となり、５位入賞しました。

ボッチャは

1、雨が降っても、やりが降っても

2、暑くても、寒くても

3、ヤングも、オールドも

4、ボーイもガールも

だれでも、いつでも　デキる。学生も、一般社会人も、町の人も楽しんでます。

ボッチャ部は、あなたを待ってます。

渡辺 真司 記

＜ゴルフ部会＞　　令和５年春の稲門会コンペ

5月11日、五月晴れの天気に恵まれた玉村ゴルフ場にて14人の参加で開催しました。今回は大塚和恵さん（54年卒）の女性初参加と三田会のゴルフ部会幹事、中川さんの友情参加があり久しぶりに４組のコンペとなりました。成績は終始安定したショットの横田さんが優勝、準優勝はベスグロ（85）の金子、三位は東海さんでした。尚、初参加の大塚さん、前半は苦労していましたが後半は実力も発揮でき当日賞の 11 位としっかり賞品を獲得しました。表彰式に先立ち、3 月にご逝去された村野さんのご冥福をお祈りし、黙祷を捧げ、元気にゴルフのできることを感謝しました。

金子 孝司 記

令和５年春の早慶懇親コンペ

6月8日に梅雨入りし、台風３号も接近して天気を心配しましたが、台風も通り過ぎ前日の雨から一転、天気に恵まれた 13 日（火）に熊谷ゴルフ場で開催しました。

今回は三田会７人、稲門会10人と17人の参加で５組でのコンペとなりました。当コースは河川敷とはいえ木々が多く新緑の中でのラウンドでした。結果、優勝は運とパートナーに恵まれた金子、準優勝も稲門会の上原さんでした。ベスグロは実力者三田会の城山さんでした。今回は表彰はなしで東久留米に戻ってから「庄や東久留米店」にて懇親会を開催しました。久しぶりの懇親会ということもありゴルフ以上に盛り上がり（？）懇親会だけでもやりたいとの声もありました。

金子 孝司 記

＜ソフトボール部会＞

ソフトボールクラブの練習に誘われ気楽に参加したが、50 年前に理工学部の硬式野球部で活躍し（？）六大学リーグで優勝したとか早稲田野球の聖地「安部球場」で練習、試合をしたなど誰も信じない、自分でも信じられない状態です。「打てない」「守れない」「走れない」と見事に三拍子揃わないのである。あらためてゴルフは楽だと思っているところです。からだを動かすことは好きなのでけがをしない程度に参加させていただきます。写真がないので 50 年前の証拠写真を添付します。（前列中央が筆者）

金子 孝司 記

＜囲碁部会＞

6 月 18 日オール早稲田囲碁祭が 4 年振りに日本棋院で開催されました。我が東稲からは 1 名西東京からも 1 名の参加でした。ABCD の四つのクラス分けがあり私は　永楽 B・東久留米チームの副将として、栗林さんは C クラス市川・江戸川・東久留米チームの主将として参加されました。

残念ながら永楽・東久留米チームは B クラスの４位　でした。個人成績も惨敗でした、栗林さんのチームは３位でした。A クラス優勝は　船橋　２位世田谷・杉並　３位柏　４位永楽倶楽部。４年前は刈草さん率いる東久留米・西東京チームが　この A クラスで優勝していたことが思い出されます。申し訳ありません。苅草さんの代役は力不足でした。

参加人数も 160 名から 85 名となり当然ですが会場も２回のホールではなく、ロビー横の小部屋となりましたが経費節減したうえで継続してゆく方針を示しております。続けていくことには大いに賛同します。

中村 敏明 記

＜ウォーキング部会＞

（第 90 回 R5. 6. 20）ｳｫｰｷﾝｸﾞ： 菅谷館跡、千年の苑（ラベンダー園）、武蔵嵐山渓谷

嵐山町（らんざんまち）は、人口約 1 万 8 千人。埼玉県中部の比企郡にあり、日本の国蝶オオムラサキの生息が有名で、歩道に見る蝶のタイルが風情を醸していた。町の名は、町内を流れる槻川の渓谷美が京都嵐山の風景に似ていたことから、昭和 3 年に本多静六林学博士により「武蔵嵐山」と命名されたことによるという。東久留米市から、西武新宿線本川越乗り換え、東武東上線川越市を経て所用 1 時間半、11 名（男 7、女 4）と、雨で 1 週間延期の為に少し減った参加者一同で、田園都市としては瀟洒な武蔵嵐山駅に降り立った。

昨年のＮＨＫ大河ドラマ鎌倉殿の 13 人に、比企地域に関わる比企能員、畠山重忠が登場していたが、当時この地域は源頼朝の有力な御家人を出した勢力圏であった。先ずは、両者共々北条一族により滅ぼされたという惨い歴史を語り継ぐ城跡に建つ、駅から約 1 ㎞の菅谷館跡・嵐山史跡の博物館を訪れた。博物館にて、比企地域の 13～16 世紀、重忠の時代から戦国時代迄の中世の歴史を学んだ後、緑豊かな広大な城内（城跡となっている）を散策した。この地では、嵐山町の歴史上の有名人は誰？と問われれば「畠山重忠」がすぐに思い浮かぶという。重忠は源平の時代のヒーローで、その重忠が住んでいたところが「菅谷館」で

あるが、城内には重忠の像も建っていたが、今見ることのできる城内は重忠の時代（約 800 年前）の館跡ではないという。約 13 万㎡の広大な面積の城跡は戦国時代（約 600 年前）、古河公方と関東管領上杉憲実が戦いを繰り広げた当時の城跡であり、それより 200 年前の重忠の館がどこにあったのか、残念ながら今も不明いう中で、吾妻鏡の記述、地元に残る多くの伝承や遺跡などから、重忠の菅谷館は現在の城内かその近辺にあったと推測されている。

非常に多くの鶯が鳴く快い声に囲まれる中で、一同車座になって昼食となり、鶯に合わせて舌鼓を打ち、普段あまり出来ない優雅な時間を過ごすことが出来た。

城から２㎞程歩くと、槻川と都畿川が合流する地に約 6.5 ヘクタール、植付株数約 22,000 株を誇る「千年の苑（ラベンダー園）」に至る。稼ぐ農業と地方創生を目指して、農事組合法人、商工会、他、多方面の協力により、町の活性化に向けて起業された事業という。「千年の苑」という名称は、鎌倉武士の鑑とまで讃えられた畠山重忠公の居住していた菅谷館跡から見下ろせるこの地が、木曽義仲公生誕の地の近くでもあり、約千年の時を経た現在、この思いを込めた美しい地を創るという意味を込めたものであるという。辺り一面、可憐に咲き誇っている花の美しさに浸るひと時を満喫し、群れ飛ぶ蜜蜂の心意気も感じとった頃、花壇の真ん中に設けられた場所にて全員の記念写真を撮ったが、来年の開花の為に全ての株を刈り取り更地同然に帰す作業に入る 26 日まであと数日と迫る事実が信じられない思いであった。

「武蔵嵐山渓谷」は、岩畳と槻川の清流・周囲の木々が織り成すみごとな景観と豊かな自然環境が素晴らしい。槻川は、外秩父山地の堂平山中にある自然林に端を発し、東秩父の山間を抜け、小川町を経て嵐山町の遠山地区に流れ込み、ここで岩場によって流路を狭められ、都幾川と合流する二瀬の手前までが渓谷となっている。昭和 3 年の命名当時は、今では想像がつかない程観光地として大変に賑わい、昭和 14 年には、与謝野晶子が訪れ、渓谷の自然などをテーマに「比企の渓」29 首を歌い、内一首は「槻の川 赤柄の傘をさす松の 立ち竝びたる 山のしののめ」という歌碑になっていた。

帰路の途中、本川越駅近くで打ち上げをした。　　部会長 東海 俊孝 記

部会だより 【今後の予定】

＜カラオケ部会＞

「カラオケを楽しむ会」

1. と　き：8 月 1 日（火）18：30
2 .ところ；オンチッチ（市内東本町 1－9、TEL：042―477―7333）
3. かいひ：5,000 円（諸物価高騰によります。食事付きです。）
4. 連絡先：髙柳康夫　TEL：042－473―3559　　携帯：090－8741－8424

E-mail :y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

令和元年 12 月を最後として、爾後 3 年半の長きにわたり、コロナ禍により開店休業を余儀なくされ、その間、マイクを握る機会が遠のき、寂しい想いをされた方が多くおられたのではないかと拝察いたします。本年 5 月 8 日から感染症法上コロナは 5 類に分類され、声を発しても気兼ねすることのない雰囲気に変わりましたので、当部会も漸く解禁することとしました。

ご案内のとおり、この間、世の中は大きく変化し、それもストレスが重なる一方であり、このような時こそ、気の置けない仲間と交わす「ご発声」は、何よりの「お薬」ですので、多くの皆様方のご参加をお待ちしています。なお、参加される方は、それぞれ「オハコ」を 3 曲ほどご用意願います。また、準備の都合上、お手数ですが、7 月 27 日（木）までに、髙柳宛ご連絡願います。

髙柳 康夫 記

＜グルメ部会＞

グルメ部会のご案内

期日:8 月 23 日（水）12 時 00 分

場所：ひばりが丘駅北口　「季粋」

会費：4000 円

行程：11：45　ひばりが丘駅改札口集合。徒歩にて 7~8 分、12 時 00 分会食、14 時終了

二次会の予定あり　ひばりが丘駅周辺の予定です。

お店は元ひばりが丘駅前の地下で営業されていた名店、地元の皆様に愛され、特に女性のフアンの多い懐石料理店です。今回はレディース懐石コース料理を召し上がって頂きます。ご夫婦での参加を歓迎致します。お店の都合上 18 名限定とさせて頂きます。奮っての参加をお願い申し上げます。
締め切りは 8 月 15 日ですので宜しくお願い致します。

申し込み窓口　吉田清郎　　hibari_y@ybb.ne.ｊp　　042-424-8090

高橋哲男　　bente-takahashi@jcom.home.ne.jp

＜映画鑑賞会第 69 回＞　　9 月 28 日（木）14 時～　成美教育文化会館

『ウエスト・サイド物語』　West　Side　Story　　(1961 年 米　1 51 分)

監 督　ロバート・ワイズ　　音 楽　レナード・バーンスタイン

出 演 ナタリー・ウッド（マリア）　　リチャード・ベイマー（トニー）

ジョージ・チャキリス（ベルナルド〔マリアの兄〕）　　リタ・モレノ（アニタ）

シェイクスピアの戯曲「ロミオとジュリエット」の現代版。ところは 1950 年代のニューヨーク、ウェストサイド・マンハッタン。ポーランド系在来非行グループ・ジェット団は、力をつけてきたプエルトリコ系新鋭非行グループ・シャーク団と、地元のビルの屋上運動場の占有権を巡って一触即発の状況が続いていた。在来ジェット団リーダーのリフは、新鋭シャーク団と決着を付けるため決闘を申し込むことに決意し、慈善団体主催のダンスホールでダンスパーティーに出席する。そこでリフの親友トニーは、初体験のダンスに胸を弾ませていたシャーク団リーダー、ベルナルドの妹マリアと出会い、二人は恋に落ちる。決闘が始まりベルナルドのナイフがリフを抉り、親友の死に逆上したトニーがその刃でマリアの兄ベルナルドを刺してしまう。圧倒する若者のダンスと斬新なカメラワーク、対立や葛藤の心理をメロディーやダンスで描写し歌って踊って楽しくというミュージカルの常識を変えシリアスで切なく新たな地平線を開いた歴史的な作品である。アカデミー賞で作品賞、監督賞など 10 部門を獲得している。

映画鑑賞会：記

皆さまからのおたより

＜東久留米稲門会初代会長安宅武一さんを偲ぶ会＞

安宅さんの作られた版画

6 月 4 日（日）東久留米市の「浄牧院〕に於いて安宅武一初代会長を偲ぶ会が開催されました。ご家族を中心に、ごく内輪の会で、献花のみの厳かな気品溢れる偲ぶ会でした。

参列者は奥様と一男三女のご家族、お孫さん、の 20 名ほど。そして、早稲田大学総長室元事務局長、会社の OB の方。東久留米稲門会からは山口会長、歴代会長、俳句部会, マグカップ会の方々を含めて 12 名。総勢 40 名程でした。

初めに別室にて展示されている安宅武一さんの思い出の品々を

見て回りましたが、その素晴らしさと几帳面さに、皆さんビックリした様子でした。ご自分が制作した「鉄道模型」、「版画」の数々、何年にもわたる「ゴルフの 1200 回を超える記録」。「命名書」「手品」の道具等々。

それから、祭壇に於いて奥様、ご長男、大学の元事務局長、会社の OB の方、東久留米稲門会高橋前会長の順で挨拶があり、続いて献花台に一人ずつ献花を行い、解散となりました。　　安次嶺 暁　記

＜「雑学大学」のオーナーになりませんか＞

もちろん、明日からすぐオーナーというわけではありません。ある程度の助走、準備期間が必要でしょう。伴走者ないし手ほどき役には現在の理事長が当たることになります。

その大学とは、すでに皆さん、ご存知かと思いますが、西東京市を中心に活躍してきた「東京雑学大学」のことです。生涯学習のメッカともいうべき存在で、市民を対象に週 1 回（各回 2 時間）開講し、毎回 30 人から 70 人、多いときには 100 人超の受講者を迎え、本年 1 月時点で、その開講回数は累計 1300 回を越えました。

創立は、東久留米稲門会と同じ 1995 年、28 年の歴史をもっています。創立者は早稲田大学の先輩で、かつて箱根駅伝で力走した菅原範人氏（1927 年前後の卒業、故人）です。講師陣には創立者の人脈でしょう、小山宙丸元総長はじめ多くの早大教授やＯＢが名を連ね、さらに東大その他諸大学の教授、名誉教授ほか、国会議員、外交官、ジャーナリスト、シンクタンク研究員、俳優、陶芸家、ピアニスト、産業人、病院長らが並んでいます。

ところが、同大学は本年 1 月末をもって突然閉校してしまいました。大学の運営に当たってきたスタッフの高齢化がその主たる理由です。ただし、継承者がおれば、これまでの豊富な実績を土台に大学の活動を再開することができる状態にあり、現理事長の菅原珠子氏（範人氏の夫人。日本女子大名誉教授）が、その後継者を探しているというわけです。

実質、早稲田系といっていい同大学ですから、できることなら早大ＯＢに後継者になっていただきたい。稲門会会員のみなさんのなかに「そんな話なら、私が一肌脱ごう」と手を挙げてくださる方はいらっしゃらないだろうかと、この「東稲ニュース」の貴重な誌面を割いていただくことになったのです。

今後、高齢者社会は拡大こそすれ縮小に傾く事は無いでしょう。団塊の世代が、雑学大学の受講適齢期になるのも、これからです。しかも昨今、人々の価値観が揺れ、文明はゆくべき方向を見失っているとさえいえるような時代に突入しています。既成の大学とはちがって、型にはまらぬ、文字どおり在野の生涯学習機関として自由に発想し、講師と受講者が同じ目線に立って相互に刺激し合い、混迷のなかで、なにがしかの明るいヒントなり暗示なりを追求する場である雑学大学の存在意義は、今後いよいよ大きくなるように思われます。

以前、「『雑学』が気にいらない」といって、出講を断る学者先生もおられました。これは継承後、適当な時期に改称すればいいでしょう。「東京みんなの大学」とか、ちょっとしゃれて「東京イグ・アカデミー」とかはいかがでしょう。「毎週の開講はきつい」というのであれば、これまたペースダウンするのも可能と思われます。

同大学運営の実務としては、まず出講をお願いする講師の招致問題があります。これは当面、現理事長が多くのリストのなかから選択してくださるはず。そのノウハウを習得することが継承者の最初の主要な仕事になります。そのほか受講者を集める広報、会場の予約や講座当日の受付業務などがあります。補佐するスタッフと手分けして捌くことになります。全体の仕事量は、それほど大きなものではありません。本業をもった人が兼業として携わることができる量でしょう。

一方、大学の運営費ですが、「東京雑学大学」は「特定非営利活動法人」として国の認定を受けています。国から若干の助成金が下りているようです。ただ、珠子理事長は年内に（早ければ今夏に）特定非営利活動法人の解散手続きをする予定だといっています。その手続きを中止するよう理事長の翻意を求めるのもよし。手続きのあとは任意団体として新たな雑学大学として再出発するもよし。任意団体になれば、工夫次第で多少の利益をあげる事業にすることも可能でしょう。が、基本的にはあくまで雑学大学はボランティア活動であって、講師への謝礼金はゼロ。これで 28 年間一貫してきました。スタッフも無報酬が建前です。

雑学大学の運営を重ね、ゆくゆく正規の大学への道を拓くことも視野にいれてもいいのではないでしょうか。廃校になる小中学校があとを断たない現代、そうした校舎の一部を雑学大学の常設講義場として、そこを足がかりに発展を遂げてゆく。実現の可能性はあると思います。

いずれにせよ、東京雑学大学の後継者から、そのオーナーになる機会が訪れています。生涯学習に意欲のある方は、この際是非手を挙げていただいて國米（☎474-1119）までご一報くださるよう、切にお願い申し上げる次第です。現理事長への橋渡し役を担います。　　國米 家己三 記

＜コントラクトブリッジ＞

今年 1 月の東稲ニュース誌面にて「ブリッジをやりませんか」と勧誘したが一人の申し込みもなし、3 月にはチラシにて勧誘したがこれでもなし、あきらめていたところ山岡さん、河村さん、三浦さんより経験はないが興味あるとの情報を得ました。それならやるしかないと準備を進め、6 月 16 日に第一回の活動を開催しました。山岡さんのバドミントンクラブ内でのリクルート活動により東海さん、坂井さんの参加があり 6 人でした。東海さん以外は初心者で私も教えるのは初めてでしたが何とかできました。目標は 10 人の参加で月 1 回の会合です。興味のある方は見に来てください。

2 回目会合　　日時：7 月 21 日（金）15 時 45 分～18 時 45 分
場所：生涯学習センター第 3 学習室　　金子 孝司 記

東稲広報室

＜清瀬稲門会主催「オペラ鑑賞会」＞

日時：8 月 13 日（日）13 時開場　13 時 30 分開演
場所：清瀬駅北口アミューホール　入場無料ですが資料代カンパ 200 円
演目：「フィデリオ」（ベートーヴェン）ベルリンオペラ歌劇場 1970 年版
ゆったりとした会場で大きなスクリーンで観るのは楽しいものです。

お時間ある方は一度足を運んでみてはいかがでしょうか。気楽な雰囲気です。　　山口 謙二 記

＜稲門祭記念品グッズ＞

皆さまのご協力により、記念品グッズの売り上げが 167000 円となり、目標の 14 万円を超えることができました。ありがとうございました。記念品を購入した方を対象に行われる福引の番号は以下の通りです。10/22 の稲門祭当日に結果がわかりますので、お楽しみに！

稲門祭 抽選番号　（敬称略）

安次峰暁（07345）、鮎貝盛和（07381）、有賀千歳（07382・07383・07384）、井坂宏（07385・07386）、伊東毅（07387・07388）、上原徹也（12727・12728）、大矢真弘（07389・07390・07391）、小野泰右（07392・

07393)、小山田朋樹（07394・07395)、片平るみ（07396・07397・07398・07399・07400・07401・07402)、金子孝司（07403・07404)、川島知子（07405、河村洋子（07406)、吉川明美（07407)、ゴルフ部会（07408・07409・07410)、坂井淑晃（07351)、酒巻俊雄（07500)、坂本洋子（07352)、清水正弘（07353・07354・07355)、高橋哲男（07356・07357・07358・07499)、橘優治（07359・07360・07461・07462)、東海俊孝（07463・07464)、長束輝夫（07468）比護喜一郎（07469)、平山努（07470・07471)、平山正徑（07472・07473)、別処尚志（07474)、帆角信美（07475）前川初子（07476)、松﨑勉（07477・07478・07479・07480・07481)、松﨑博（07482・07483・07484)、三浦洋子（07485)、山岡恭子（07486)、山口謙二(07487・07488)、横田治彦（07489・07490)、吉田清郎（07491)、渡辺真司（07492・07493・07494・07495・07496）秋山すえ子（07497)、渡邊春子（07498）

＜ポストマン区割表＞

本年度のポストマン区割表を以下のように作成致しました。経費削減のため、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。　事務局

地区名	担当者	地区名	担当者	地区名	担当者
上の原1･2	塚越	神宝町1･2	清水	氷川台1･2	青木
大門町1･2	小野	浅間町1･2	山口	浅間町3	吉田
学園町1･2	平山努	南沢1･2	別処	南沢3･4	小山田
南沢5	片平	南町1･2･3･4	後藤	前沢1･2･3	河村
前沢4･5	横田	滝山1･2･3	中村	滝山4･5	前川
柳窪12345	船津	滝山6･7	梶井	野火止1･2･3	金子
幸町12345	東海	八幡町1･2･3	坂井	小山12345	松﨑勉
本町1･2	有賀	本町3･4	大矢	中央町123456	高橋
新川1･2	小野	下里1･7･5･6･7	金子	金山1･2	塚越
東本町5	大矢	下里3･4	船津	弥生･市外(郵送)	大矢

＜会員リレーエッセイ＞　***～噴水広場～***

S50　政経学部卒　高橋 哲男

明治以降の東久留米の歴史と農業及び思い出

東久留米地地域を含む三多摩地域は、1868 年（明治元年）には、武蔵県に属していたが、一部江戸時代の領主支配もあり、韮山県・龍崎県も含まれていた。武蔵県が 1869 年に品川県・小菅県・大宮県に分かれ、品川県に属した。その後 1871 年の廃藩置県により、品川県は廃止され、三多摩地方は、一時東京府・入間県に分割編入されたが、翌年 1872 年三多摩全域が神奈川県に編入される。当時は、八王子の養蚕業から横浜へのシルクロードがあり、三多摩と神奈川県は、経済上密接な関係があったが、東京の水資源の確保の為には玉川上水の管理が必要であり、東京府知事より内務大臣宛上申書が提出され 1893 多摩郡が東京府に編入された。

＊武蔵県・・東海道に属し、現在の東京都・埼玉県・神奈川県の横浜市、川崎市
＊品川県・・東京南西部、多摩東部、横浜市、川崎市、埼玉の一部、二年半で消滅
＊韮山県・龍崎県　静岡県、神奈川県、埼玉県、山梨県、東京多摩東部

その中で東久留米市地域は、1889 年神山村、門前村、落合村、小山村、南沢村、前沢村、下里村、柳窪村、柳窪新田、栗原新田により久留米村が成立、1956 年町制施行、1970 年市制施行し、現在に至っている。

戦後 6 年に生まれた私の実家は、麦藁屋根で 1 階は、土間で風呂までは土間を通って行っていた。お釜も土間にあって薪でご飯を炊いていた。ご飯は白米に麦が混ざっていたが、カレーライスの時は、白米だけであった。魚屋が近くにないので月に 1～2 回の行商から魚類を購入していた。2 階は養蚕の名残があり、梯子で 2 階に上がるとまだ蚕が住んでいるようであった。家の前の旧落合川で野菜を洗った時期は、川が現在同様に清らかであった。物置の前にあった水車は、戦前水車を利用して近くの農家に依頼された米や麦を突いていたが、戦後機械化により水車の仕事は廃業し、1953 年に取り壊している。水車のため､落合川の御成橋の前から水を引き入れ私有地を通って神明通りの先で落合川に戻していたが、現在その川は家の前の道路で東久留米市へ寄付している。小学生の頃、御成橋付近で堰を造り泳いだことがあるが、水源に近く水が冷たいので 15 分もすると唇が紫色になったことを覚えている。この川では水稲耕作は難しいと思った。これに都市化による水質汚染が稲作の減少に拍車をかけた。尚、東久留米市の水田については、1931 年から減少期に入り、1973 年には水田は皆無になった。実家では、養蚕業や水車も廃業した時期は、経済的に厳しいので使用人は、解雇している。その頃は、自宅にはテレビがなく、近所で力道山等のプロレス中継を視聴した。尚、テレビは東京オリンピック 1964 の為、購入をしている。

戦後. 東久留米市の農家は終戦に伴う東京都民の食料不足のため、芋類・米・麦・雑穀などのあらゆる食用作物を増産したが、昭和 20 年代後半になると食糧事情も好転し、国際小麦協定に参加すると外国産小麦の輸入により小麦価格が低落したため多くの野菜類の作付けが増加された。一方、昭和 30 年以後、交通の発達とともに全国の産地から東京市場へ大量の野菜が入荷すると東久留米のような近郊農業は市場への近接性という立地条件では成り立たなくなり、農家数は減少したが、自立経営を目指し、野菜作りの他、苗木生産と造園・温室花弁・畜産などといった都市農業を発展させる農家も出現した。

さて、これも小学生の頃の話であるが、前沢宿の交差点から、東久留米駅方面へ 200m 尾崎クリニックの反対側に地方民間市場があったので小遣い稼ぎのため、田芹、山椒を持ち込んだことも懐かしい思い出である。この市場には、近隣の農家は、最低限の出荷程度で付合いをしたが、東京都心の市場へ出荷しており、昭和 40 年初期に営業を廃止した。

東京の市街地の拡大と周辺への都市化の波及は、近郊農家にとって、労働力不足の深刻化・生産環境の悪化・地価の高騰・生活水準の向上など、従来の農業経営にマイナスとなる面が次々と生じてきた。多くの農家は、農業外収入を不動産所得から得ており、自営や給与所得によるものが少ない。農地の一部を、貸家やアパート等に転用すれば安定した収入が得られる。こうして不動産によって得た収入で生活を支え、農業を継続している農家が多いのである。これは、生活を防衛するためやむを得ないことと思う。

実家についても市内の農家と同様に賃貸マンションにより不動産収入を得ていたが、このままでは将来の見通しが暗く、今後、教育資金を含めた生活資金が一層増加する為、両親は地形を活かした事業をしたいとのことで釣り堀を 1967 年に開業する。台風の時、釣り堀の堤防が決壊することを二人で護ったことは鮮明に覚えている。但し、固定資産税等を比較すると採算が合わず、東京都内でのヘラブナの釣り堀は、ほとんどなくなっている。事業を見直す時期になっていると思う。

ここまでが明治以降の東久留米の歴史と実家を含めた戦後の農業の変遷であるが、東久留米の学校についても簡単に触れてみたい。

1906 年に久留米尋常・高等小学校として設立した第一小学校時には、東分教場と西分教場があった。それが 1947 年に久留米小学校（1960 年久留米第一小学校）・東分校・西分校になり、1958 年私が第一小学校に入学時は、東分校から小学 5 年生の時に西分校から小学 4 年生の時に第一小学校へ編入していた。小学校生活では、都内から転入した子女もいて地元の小学生と違い垢抜けていて成績も良いが、地元のプライドの為、負けないよう勉強をしたと思う。また、都会の女の子を意識したことも思い出での一つである。

東久留米市総人口・児童・生徒数・学校推移

年		児童数		生徒数		開校年度		閉校年度
	総数	人口	構成率％	人口	構成率％	小学校	中学校	小学校
1906						久留米小		
1940	早稲田錬成道場落成							
1947							久留米中	
1950	8,415							
1955	10,319							
1960	19,637	1,790	9.01	910	4.58			
1962						三小	東中	
1963						四小		
1964						五小		
1965	47,252	3,541	8.05	1,318	3.00			
1966						六小		
1968						七小	西中	西分校
1970	78,075	7,514	10.17	2,090	2.83	九小		
1971						八小		
1972						十小	南中	

1974						小山小	大門中	
1975	98,734	11,569	11.72	3,811	3.86	神宝・滝山・南町小		
1976						本村小		
1978						下里小	下里中	
1980	106,854	13,033	12.20	5,195	4.86			
1984							中央中	
1985	109,919	10,592	9.64	5,794	5.27			
1990	113,402	8,181	7.21	4,425	3.90			
1995	113,172	6,903	6.10	3,435	3.04			
2000	113,353	5,986	5.27	2,950	2.60			
2003								滝山小
2005	114,539	6,109	5.33	2,605	2.27			
2009								八小
2010	114,807	5,961	5.19	2,718	2.37			
2011								四小
2015	116,494	5,576	4.79	2,731	2.34			
2019								下里小
2020	116,916	5,522	4.72	2,532	2.17			

＊人口については、1959年ひばりヶ丘団地1,210戸、1962年東久留米団地2,280戸、1968年滝山団地6,360戸、1969年久留米西団地1,940戸等により急増

人口については、横ばいであるが、児童・生徒の構成率はピーク比 40%以下になっている。
但し、東久留米市は、国内でも自然環境は優れていると思っている。
＊資料写真は、東久留米市（東京都東久留米市発行）東久留米の学校史（東久留米市教育委員会発行）による。

編集後記

今も早稲田大学には名物教授がいるのだろうか。私が在学当時（昭和 47 年～51 年）の文学部には、名物教授が二人いらした。お一人は暉峻康孝教授。かの有名な女子学生亡国論の提唱者である。当時はあちこちのマスコミでお見かけしたものだ。あまり賛成できない説のこともあり、暉峻教授の西鶴授業を私は選択しなかった。大変な人気講座であったが。もうお一人は仁戸田六三郎教授。宗教学概論を教えてらした。その授業は選択したが、ユーモアのある授業、成績も緩めで、人気の秘密がうかがわれた。ベレー帽を被り、風呂敷包みを抱え、文学部のスロープ横をヨタヨタと歩いてらした姿を覚えている。が、最近昭和 52 年の仁戸田教授の映像を見て、その若さに驚いた・・・今の自分より年下なのだ。

編集委員：片平るみ（今回の担当）・有賀千歳

東久留米稲門会ホームページにアクセスできます。東稲ニュースがカラーでご覧いただけます。